



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沼 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 雅

TEL 03-5977-5002

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	94,165	4.3	24,592	10.6	24,972	10.3	17,775	6.7
2018年3月期	98,430	3.0	27,496	10.5	27,854	10.1	19,043	13.5

(注) 包括利益 2019年3月期 16,782百万円 (19.1%) 2018年3月期 20,753百万円 (8.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	445.78		15.1	16.2	26.1
2018年3月期	470.54		17.6	19.4	27.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	155,985	121,131	77.7	3,049.78
2018年3月期	152,417	113,874	74.7	2,824.32

(参考) 自己資本 2019年3月期 121,131百万円 2018年3月期 113,874百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	21,129	5,744	9,524	58,555
2018年3月期	21,703	3,245	9,530	52,694

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		75.00		75.00	150.00	6,047	31.9	5.6
2019年3月期		75.00		75.00	150.00	5,957	33.6	5.1
2020年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00		37.0	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,400	2.4	11,000	11.0	11,200	10.7	7,900	10.6	198.90
通期	92,900	1.3	22,300	9.3	22,700	9.1	16,100	9.4	405.36

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期	48,439,730 株	2018年3月期	48,439,730 株
2019年3月期	8,721,768 株	2018年3月期	8,120,458 株
2019年3月期	39,874,831 株	2018年3月期	40,470,958 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(役員の異動)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高は薬価改定の影響等により、対前年同期比 4.3% 減の 94,165 百万円となりました。

利益面では、売上原価率は前年並みであったものの、売上高の減少と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は対前年同期比 10.6%減の 24,592 百万円となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比 25.9%増加し、10,261 百万円となったためであります。経常利益は 24,972 百万円(対前年同期比 10.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は 17,775 百万円(対前年同期比 6.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、爪白癬治療剤「クレナフィン」の売上は増加しましたが、関節機能改善剤「アルツ」、高脂血症治療剤「リピディル」の売上減少などにより減収となりました。

その背景としましては、薬価改定による影響が大きく、また、国の後発医薬品使用促進策の影響も継続していることなどがあげられます。

農業薬品につきましては前年並みとなりました。

この結果、売上高は 91,804 百万円(対前年同期比 4.4%減)、セグメント利益(営業利益)は 23,116 百万円(対前年同期比 10.5%減)となりました。

なお、海外売上高は 9,016 百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 2,360 百万円(対前年同期比 1.9%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,476 百万円(対前年同期比 10.8%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は 155,985 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,567 百万円の増加となりました。これは主に、有価証券の増加によるものであります。

負債は 34,854 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,688 百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

また、純資産は 121,131 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 7,256 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ 5,860 百万円増加の 58,555 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 21,129 百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,744百万円となりました。これは主に、長期前払費用の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9,524百万円となりました。これは、配当金の支払と自己株式の取得によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	67.0	67.6	76.0	74.7	77.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	250.4	212.0	190.3	166.1	128.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	28.5	14.3	25.3	17.9	18.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	515.7	979.4	703.1	1,295.6	1,219.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の業績につきましては、売上高は、「クレナフィン」が伸長するものの薬価改定の影響もあり国内医療用医薬品は前年並みである一方、医薬品輸出、特許料収入の減少により、全体としては減収を見込んでおります。利益は研究開発費の増加等もあり、減益となる予定であります。連結売上高は92,900百万円、営業利益は22,300百万円、経常利益は22,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16,100百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外に連結子会社を持たない現状を踏まえ、日本基準を適用しております。

日本の会計基準は、これまでのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっていると認識しておりますが、引き続き、金融庁企業会計審議会での議論等を注視しつつ、会計基準の適切な選択につとめてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,095	46,956
受取手形及び売掛金	33,315	30,340
有価証券	7,599	11,599
商品及び製品	7,178	6,113
仕掛品	3,986	2,647
原材料及び貯蔵品	5,487	4,959
その他	1,197	1,114
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	103,859	103,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,658	41,668
減価償却累計額	△23,383	△24,224
建物及び構築物 (純額)	17,274	17,443
機械装置及び運搬具	15,677	15,345
減価償却累計額	△12,487	△12,199
機械装置及び運搬具 (純額)	3,190	3,146
工具、器具及び備品	6,974	7,380
減価償却累計額	△6,035	△6,059
工具、器具及び備品 (純額)	938	1,320
土地	4,324	4,324
建設仮勘定	412	166
有形固定資産合計	26,141	26,402
無形固定資産	552	551
投資その他の資産		
投資有価証券	18,488	17,068
長期前払費用	1,072	4,610
繰延税金資産	1,621	2,934
その他	681	685
投資その他の資産合計	21,863	25,299
固定資産合計	48,557	52,254
資産合計	152,417	155,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,204	10,729
電子記録債務	1,248	1,529
短期借入金	3,875	3,875
未払金	4,565	3,639
未払費用	667	427
未払法人税等	5,097	4,042
賞与引当金	1,242	1,149
役員賞与引当金	108	86
返品調整引当金	10	7
売上割戻引当金	325	314
その他	2,057	1,777
流動負債合計	31,401	27,580
固定負債		
退職給付に係る負債	6,787	6,642
その他	354	631
固定負債合計	7,141	7,274
負債合計	38,543	34,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,408	11,408
利益剰余金	97,284	109,057
自己株式	△23,259	△26,782
株主資本合計	109,287	117,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,510	4,524
退職給付に係る調整累計額	△923	△930
その他の包括利益累計額合計	4,587	3,594
純資産合計	113,874	121,131
負債純資産合計	152,417	155,985

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
売上高	98,430	94,165
売上原価	42,405	40,366
売上総利益	56,024	53,799
返品調整引当金戻入額	2	2
差引売上総利益	56,026	53,802
販売費及び一般管理費		
給料	7,152	6,826
賞与及び賞与引当金繰入額	1,820	1,649
役員賞与引当金繰入額	108	86
退職給付費用	844	634
研究開発費	8,152	10,261
減価償却費	204	224
その他	10,247	9,525
販売費及び一般管理費合計	28,530	29,209
営業利益	27,496	24,592
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	304	345
その他	103	112
営業外収益合計	412	464
営業外費用		
支払利息	16	17
為替差損	25	39
リース解約損	4	10
その他	6	17
営業外費用合計	53	84
経常利益	27,854	24,972
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	165	44
投資有価証券売却損	3	—
ゴルフ会員権売却損	—	4
その他	0	—
特別損失合計	168	49
税金等調整前当期純利益	27,686	24,922
法人税、住民税及び事業税	9,206	8,022
法人税等調整額	△563	△874
法人税等合計	8,643	7,147
当期純利益	19,043	17,775
親会社株主に帰属する当期純利益	19,043	17,775

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
当期純利益	19,043	17,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	898	△985
退職給付に係る調整額	811	△6
その他の包括利益合計	1,710	△992
包括利益	20,753	16,782
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	20,753	16,782

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	23,853	11,407	84,331	△19,813	99,778	4,611	△1,734	2,876	102,655
当期変動額									
剰余金の配当			△6,089		△6,089				△6,089
親会社株主に帰属する当期純利益			19,043		19,043				19,043
自己株式の取得				△3,445	△3,445				△3,445
自己株式の処分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						898	811	1,710	1,710
当期変動額合計	—	0	12,953	△3,445	9,508	898	811	1,710	11,219
当期末残高	23,853	11,408	97,284	△23,259	109,287	5,510	△923	4,587	113,874

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	23,853	11,408	97,284	△23,259	109,287	5,510	△923	4,587	113,874
当期変動額									
剰余金の配当			△6,002		△6,002				△6,002
親会社株主に帰属する当期純利益			17,775		17,775				17,775
自己株式の取得				△3,523	△3,523				△3,523
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△985	△6	△992	△992
当期変動額合計	—	—	11,772	△3,523	8,249	△985	△6	△992	7,256
当期末残高	23,853	11,408	109,057	△26,782	117,536	4,524	△930	3,594	121,131

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	27,686	24,922
減価償却費	2,124	2,153
長期前払費用償却額	76	446
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△69	△154
受取利息及び受取配当金	△309	△351
支払利息	16	17
有形固定資産除却損	160	43
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,084	2,975
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△155	2,930
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,290	△1,193
その他	1,754	△1,928
小計	28,489	29,861
利息及び配当金の受取額	309	351
利息の支払額	△16	△17
法人税等の支払額	△7,078	△9,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,703	21,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,689	△1,908
無形固定資産の取得による支出	△199	△220
投資有価証券の取得による支出	△1,253	△1
長期前払費用の取得による支出	△110	△3,661
その他	6	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,245	△5,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3,445	△3,523
配当金の支払額	△6,085	△6,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,530	△9,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,927	5,860
現金及び現金同等物の期首残高	43,767	52,694
現金及び現金同等物の期末残高	52,694	58,555

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売並びに不動産賃貸の事業を営んでおり、業種別に事業に従事する経営スタイルを採用しております。また、各事業の運営は、事業ごとに主体的に行われ、包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業の運営を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「薬業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

「薬業」は、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売を主とし、「不動産事業」は、文京グリーンコート関連の不動産賃貸を主としております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

また、共用資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注)1	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	96,022	2,407	98,430	—	98,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	96,022	2,407	98,430	—	98,430
セグメント利益	25,840	1,655	27,496	—	27,496
セグメント資産	85,397	10,554	95,952	56,464	152,417
その他の項目					
減価償却費 (注)2	1,896	303	2,200	—	2,200
有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (注)2	2,931	41	2,972	—	2,972

(注) 1. セグメント資産の調整額56,464百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注)1	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	91,804	2,360	94,165	—	94,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,804	2,360	94,165	—	94,165
セグメント利益	23,116	1,476	24,592	—	24,592
セグメント資産	81,908	10,277	92,186	63,799	155,985
その他の項目					
減価償却費 (注)2	2,302	297	2,600	—	2,600
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額 (注)2	6,405	19	6,424	—	6,424

- (注) 1. セグメント資産の調整額63,799百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

2. 関連情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	17,069	薬業
(株)スズケン	15,779	薬業
(株)メディセオ	14,573	薬業

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	17,007	薬業
(株)スズケン	14,397	薬業
(株)メディセオ	13,018	薬業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,824円32銭	3,049円78銭
1株当たり当期純利益	470円54銭	445円78銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	19,043	17,775
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	19,043	17,775
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,470	39,874

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	113,874	121,131
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	113,874	121,131
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数 (千株)	40,319	39,717

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(役員の変動)

(1) 代表者の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2019年6月27日付 予定)

① 新任監査役候補

監査役 遠藤 宏歳 (現 明治安田商事株式会社 監査役)

② 退任予定監査役

監査役 櫻井 利雄